

平成18年11月

学童クラブの運営委託に関する検証結果

I 検証の視点

平成18年度の学童クラブの委託は、「杉並区学童クラブ運営委託方針」（平成17年7月決定）に基づき進めてきたが、今後の委託を円滑に進めるためには、委託した2つの学童クラブにおける成果及び改善点を明らかにする必要がある。

そのため、委託方針の基本姿勢に掲げた以下の各項目について、委託法人へのヒアリング、当該2クラブの保護者アンケートの結果（平成18年9月実施、回答数67、回答率69.1%）を踏まえ、検証を行った。

なお、検証については、今後とも2クラブに設置した学童クラブ運営協議会を中心として、様々な角度から継続的に行っていく。

〈検証項目〉

- 1 事業者が円滑に運営できるよう、引継ぎ期間や委託後に、区として適切な条件整備や支援を行ってきたか。
- 2 事業者は、サービスの質を確保した運営を行っているか。
- 3 事業者は、保護者や子どもの多様なニーズに迅速・柔軟に対応しているか。
- 4 保護者の学童クラブ運営への参画や協働は推進されたか。

II 検証結果

1 区の条件整備・運営支援

(1) 引継ぎについて

① 期間及び体制

3か月という期間について、事業者は、区の学童クラブの運営方針や日常運営の流れ、登録児童の把握を行う上で十分な期間であったとの評価をしている。また、常勤2名＝3か月、嘱託員1名＝1か月という引継ぎ体制についての事業者の意見は、4月当初の円滑な移行を考えると、常勤の体制は適当であったが、それ以外の職員は、嘱託1名だけが1か月引継ぐよりは、半数程度が春休みに短期集中的に引継ぐ方が望ましいと感じたということであった。

② 内容及び方法

引継ぎの内容及び方法について、事業者からは日によっては効率的でなかった面もあったとの指摘があったほか、法人独自の打ち合わせ時間の確保や他のクラブの視察を増やしてほしいなどの要望が出された。

引継ぎについては、期間は適当であったと考えられるが、事業者の意見や引継ぎに当たった区職員の意見等を踏まえ、体制やスケジュールの一部見直しや、登録児童数に応じた運営上の工夫などを含むより実践的なきめ細かい引継ぎマニュアルの作成などの内容の改善について検討する必要がある。

(2) 委託開始後の支援

2クラブともに登録児童数が大幅に増加したこともあり、4～5月は運営上の混乱も見られたので、次のような事例に対して助言や情報提供を行った。

- 4月当初、児童の帰宅時間を間違えるというミスが発生したが、職員全員が帰宅時間を確認できるようなくみに変更するよう助言を行った。
- 新1年生が多いこともあり、帰りの会するとき、集団としてのまとまりを欠く状況が生じていた。そこで、子どもたちを落ち着かせてから帰宅できるよう助言を行った。

(参考) 登録児童数の推移

クラブ名	18.3.1 現在	18.4.1 現在(うち1年生)
新 泉	37名	51名(15名)
松ノ木小	37名	60名(28名)

このほか、所属児童館の館長を通して、児童館長会の情報などを定期的に提供するとともに、区職員を対象とした研修についても情報提供を行い、参加を呼びかけた。

(参考) 区の研修への事業者職員の参加状況

研 修 名	実施日	参加者
子どもの遊び活動支援基礎講座	5月25日(木)	2名
救急法	6月8日(木)	〃
困難をかかえる保護者の理解と支援(基礎編)	6月22日(木)	〃
軽度発達障害児の集団における対応のヒント	9月7日(木)	〃

また、法人からの要望により、整理棚の設置、門扉の修繕など環境整備にも迅速に対応した。

この間の区の支援について、事業者からは概ね適切であったとの評価を受けているが、4月の支援のあり方については、必要に応じて、現場での区職員の直接的な助言の回数を増やすなど、改善を図っていく必要がある。

また、今後ともサービスの質を確保し高めていくためには、事業者とのコミュニケーションを密にし、積極的な支援を行っていく必要がある。

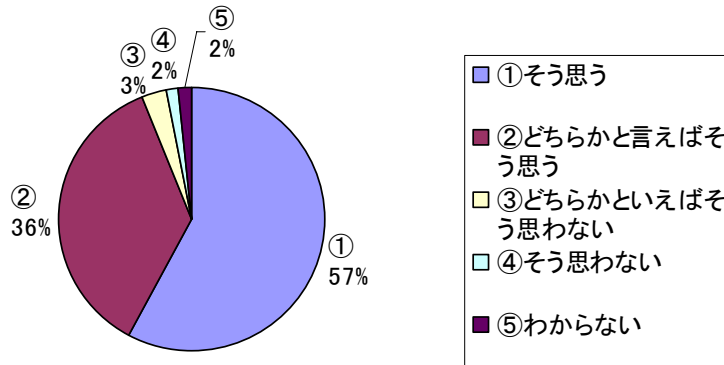
2 サービスの質の確保

(1) 日常運営

① 日常育成

「お子さんは、現在、楽しく学童クラブに通っていますか？」という質問に対し、90%を超える保護者が、「①そう思う」または「②どちらかといえばそう思う」と回答していることから、基本的に、学童クラブが子どもにとって居心地の良い場所になっていると言える。

(質問) お子さんは、現在、楽しく学童クラブに通っていますか？



② 保護者への情報提供・保護者とのコミュニケーション

「法人からの日常の運営の様子や取組み内容は、伝わってきますか？」という質問に対し90%の保護者が、「①そう思う」または「②どちらかといえばそう思う」と回答している。

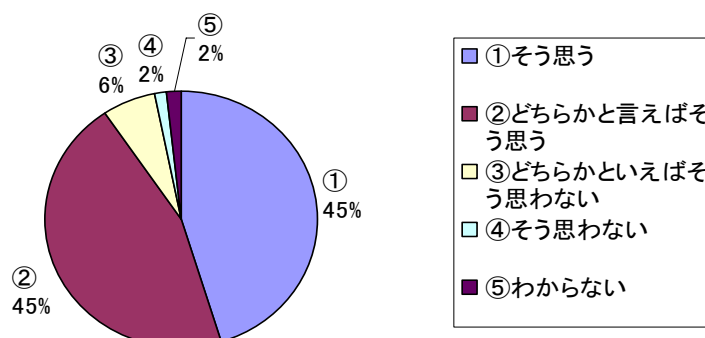
「現在、面談、連絡帳、交換ノートなどを通して、学童クラブの先生とのコミュニケーションがうまくとれていますか？」という質問に対しては、約80%の保護者が「①そう思う」または「②どちらかといえばそう思う」と回答している。

こうしたことから、学童クラブの様子を積極的に保護者に伝えようという事業者の姿勢が、保護者から評価されているということが出来る。

ただし、コミュニケーションについては、「③あまりとれていない」または「④とれていない」と回答した保護者も10%強いたことから、よりきめ細かい対応が必要であると言える。

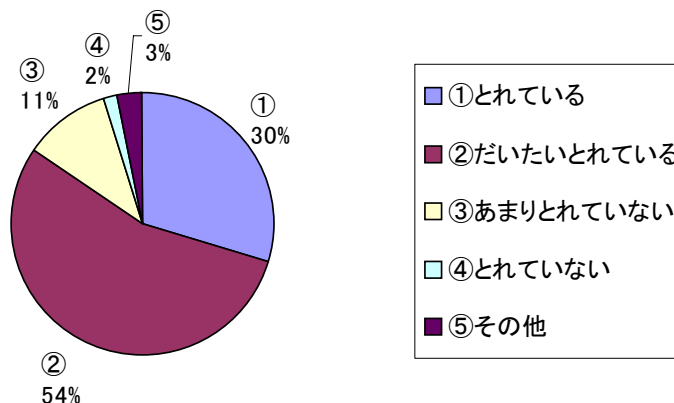
[情報提供について]

(質問)法人からの日常の運営の様子や取組み内容は、伝わってきますか？



[コミュニケーションについて]

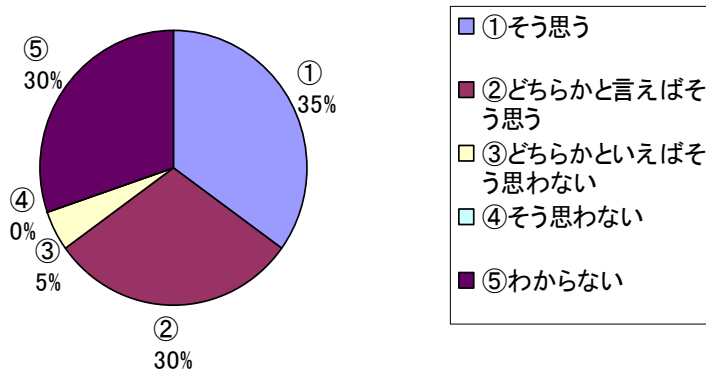
(質問)現在、面談、連絡帳、交換ノートなどを通して、学童クラブの先生とのコミュニケーションがうまくとれていますか？



③ 環境整備

「室内や遊具などは、清潔な状態を保ち、整理整頓されていると思いますか？」という質問については、「⑤わからない」という回答が30%あった。しかし、「④そう思わない」と回答した保護者は0であり、「①そう思う」または「②どちらかといえばそう思う」と回答した保護者が65%であったことから、一定の評価を受けていると判断できる。

(質問)室内や遊具などは、清潔な状態を保ち、整理整頓されていると思いますか？



④ 個人情報の管理

事業者は、情報管理責任者の選任（クラブ長）、紙情報（台帳等）とパソコンの鍵つきキャビンへの保管、情報管理台帳の作成、パソコンのセキュリティ対策の実施（パスワード使用等）、個人情報持ち出し時の厳重管理（持ち出し簿への記載、重要文書連絡便の使用）等を実施している。

上記①～④の結果を踏まえると、保護者との日常のコミュニケーションをよりきめ細かく行ったり、日頃、学童クラブに足を運ぶことがない保護者にも環境整備の状況を定期的に伝えるようにするなど、一部に改善すべき点はあるものの、委託による質の低下を示すような結果は見られず、委託後も一定水準以上のサービスの質が確保されているということが出来る。

(2) 地域に根ざした運営に向けた取組み

学校長、PTA代表、学童父母会OB、主任児童委員などを構成メンバーとした学童クラブ運営協議会を設置し、日常運営に関する意見交換を行っている。今後、地域に根ざした運営の推進に向けての協議も行っていく予定である。

事業者は、地域との関係を深めるため、子どもたちと一緒に手づくりおやつを近隣に配る、地域の盆踊り大会に出店を出すなど地道な取組みを行っている。

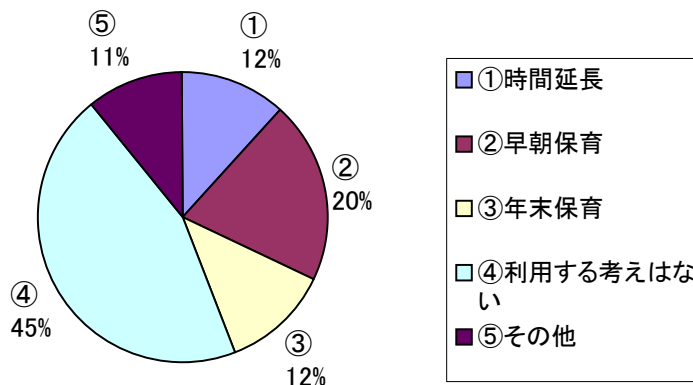
運営協議会の設置により体制が整備され、事業者もすでいくつかの取組みを行っているが、地域に根ざした運営を推進していくためには、今後、運営協議会での協議を踏まえ、より幅広い取組みを行っていく必要がある。

3 多様なニーズに対する迅速・柔軟な対応

(1) 付加的サービス

「①時間延長」を希望する保護者、「③年末保育」を希望する保護者がいずれも12%、学校休業期間中の「②早朝保育」を希望する保護者が20%、「④利用する考えはない」と回答した保護者が45%となっている。

(質問)付加的サービスは、区の直営のクラブでは行っていないサービスで、法人が独自に提供する有料サービスです。今後、次のような付加的サービスを希望しますか？希望されるものをいくつでもお答えください(複数回答)



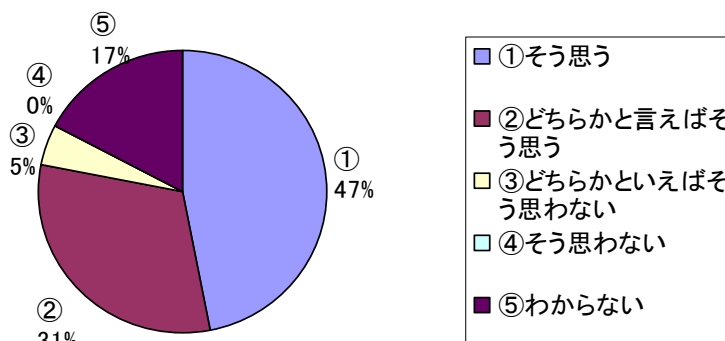
事業者は夏休みの早朝保育を実施する用意があったが、当面は日常運営の足場を固めるべきだとの運営協議会の意見を受け、実施を見送った経緯がある。事業者は、今後も一定の需要が見込まれれば実施するという姿勢であるが、実施の是非については、今後、アンケート結果を踏まえ、運営協議会で検討を行っていく予定であり、現時点で評価を行うことはできない。

(2) 運営上の創意工夫

「運営上の創意工夫がされていると思いますか？」という質問に対して、約半数の保護者が「①そう思う」と回答し、「②まあそう思う」と合わせると約80%に達した。一方、「④そう思わない」と回答した保護者は一人もいなかった。工夫されていると思う点についての具体的な意見は以下のとおり。

- 夏休み期間中の行事や催し物が充実していた 12件
- 日常の対応や雨の日の対応が充実していた 12件
- 意見箱の設置、意見交換ノートの実施、職員顔写真の掲示など

(質問)運営上の創意工夫がされていると思いますか？



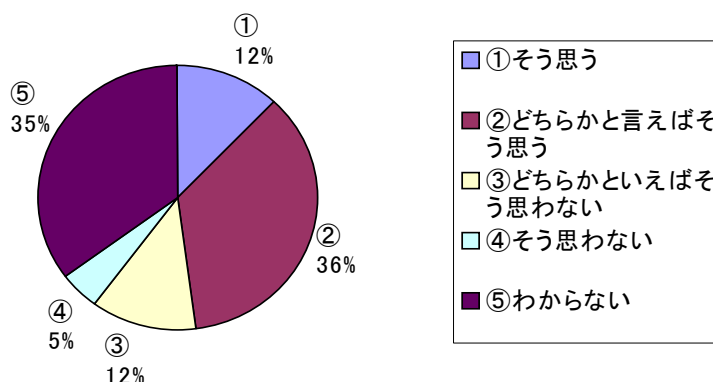
アンケートの結果から、事業者は創意工夫を生かした柔軟な運営を行っていることが評価することができる。

4 保護者の運営への参画と協働の推進

「保護者の学童クラブ運営への関心や参画が高まったと思うか？」という質問に対して、約半数の保護者が、「①そう思う」または「②まあそう思う」と回答した。一方、「④そう思わない」と回答した保護者は5%だったが、「⑤わからない」と回答した保護者が35%いた。また、より関心を高めるために大切だと思うことを運営協議会のほかに伺ったところ、以下のような意見が寄せられた。

- O Bも含めた保護者同士のつながりを広げる（深める） 7件
- 地域の方々に行事等への参加・共催などを呼びかけ、親睦を増やす 6件

(質問)平成18年4月以降、学童クラブ運営協議会を設置し、運営協議会ニュースを発行するなどの取組みを行ってきましたが、保護者の学童クラブ運営への関心や参画は高まったと思いますか？



アンケートで、約半数の保護者が「関心や参画が高まった」と回答していることから、確実に成果が現れ始めていると評価することができる。ただし、「わからない」という回答が多かったことから、運営協議会の協議内容をわかりやすく伝え、意見を求めたり、保護者参加型の行事の実施などにより、保護者同士のつながりを深めるなど、さらに参画と協働の推進を図っていく必要がある。